



緑 柏

はじめに、福岡・大分で発生しました大雨による災害について、亡くなられた皆様に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。南高におきましても、災害時の危機管理体制について、改めて点検をいたします。

校長室の窓から

ザルはいくら重ねてもザル

校長 松井 裕次

学習合宿開講式

開講式で次の様な話をした。緊張をほぐそうという意図もあり、半分ウケねらいのパフォーマンスを演じた。「これがザル状態」といいながら、短髪の頭に自前のザルを被って見せた。ザルの穴から髪の毛が飛び出ている。「穴があるから飛び出るんです、分かりますか?」、生徒は怪訝そうな顔をしているが、無理矢理に納得させる。職員も心配そうに見守っている。さらにザルを2つ、3つと被って見せた。「まだザルの穴から髪が見えるでしょう?」といいながら、終いにはザルを全部とり、今度は水色のボウルを頭に被って見せた。「このヘルメット状態がボウルです、ボウルには穴がない。通気性も透水性もない。完璧に頭に被っている。先ほどの1つのザルは皆さんが受ける1回分の実力試験や模擬試験を表現しています。穴だらけのザルはセンター試験で言えば300点ぐらいの状態です。ヘルメット状態のボウルは900点満点だと思ってほしい」、ここまで来ると、生徒も話の中身が見えてきたようだ。

ザルとボウルのちがいは

台所にあるザルとボウルを思い出してもらいたい。ザルで野菜やお米を洗うことがあっても、水を汲む人はいない。ザルの中に卵を割る人もいないはずだ。ザルを何枚重ねても水は汲めない。勉強せずに試験を受ける、練習せずに野球の試合で守備につく。この人たちを世間ではザルという。ザルはいくら重ねてもザルである。勉強せずに試験ばかりいくら受けても結局は合格点には至らない。練習せずに野球の守備位置についてもエラーばかり、ましてファインプレーなどは望むべくもない。

ザルの目を埋めていく

受験勉強を始める前の学力は、みんな同じザル状態と思ってよい。ミスをするのは当たり前である。人は失敗して試行錯誤を繰り返す中で、成長し大人になっていく。社会では、失敗を乗り越える力と修正力こそが求められている。まずは自身のザルの目を埋めることだ。

一度埋めた穴も、記憶が定着せず再び穴に戻ってしまうかもしれない。また、別の場所が経年劣化で穴があいてしまうかもしれない。それでもあいた穴がふさがっていけば、ザルがボウルへと限りなく近づいていく。

ここで注意したいことは、人に備わる感性がそれぞれ違うように弱点は人によって違うということ。これまでの学びの違いが、読解力や集中力の差にもつながっているかもしれない。大切なのは自分自身を知り、間違いやすいパターンに気づくこと、自分のザルの穴を埋め続けることである。他人のザルと比べても意味がない。

失敗を越える力

長大のリレー講座に参加した。失敗を越える力とは正に「修正力」のことである。9年の任期を最後に、この9月で退官される片峰 茂 学長が挨拶文の中で、次のように述べている。「意味のある発見や創造が多くの失敗の積み重ねの上にしか産まれないことを、研究を志す人であれば誰しもが知っている。人生においても然り。要は失敗から何かを学ぶこと、そして失敗にめげない気概ではないか。」

○野球部・吹奏楽部壮行式

7月3日(月)、全国高等学校野球選手権大会県予選に出場する野球部と、全国高等学校吹奏楽コンクール県予選に出場する吹奏楽部の壮行式が開催されました。

式は、吹奏楽部による「栄冠は君に輝く」の演奏に合わせた野球部の選手入場ではじまり、全校生徒が手拍子でこれを迎えました。野球部主将の森山君、吹奏楽部部長の古場さんの決意表明、榎津常任委員長の激励の言葉と全校生徒が想いを込めた横断幕の贈呈がおこなわれた後、吹奏楽部が課題曲「スケルツェンド」と自由曲「The rebirth ～復興～」演奏を披露。最後は今回から応援部を率いる中峯君の指揮で応援活動がおこなわれ、全校生徒から熱いエールが送られました。

○ 野球部結果

第99回全国高等学校野球選手権長崎大会

1回戦 対 長崎鶴洋高校 8-1 (勝ち) 7回コールド

2回戦 対 清峰高校 0-6 (負け)

○ 吹奏楽部結果

第62回長崎県吹奏楽コンクール 金賞



○校内大会

7月11日(火)、12日(水)の両日、前期校内大会が開催されました。今回の大会は、男子がサッカー・バスケットボール、女子がバレーボール・ドッジボールで競技が実施され、天候にも恵まれて夏空のもと各会場で熱戦が展開されました。表彰式では、恒例となりつつある、賞状を手にした代表生徒の壇上からのパフォーマンスにクラス全員で呼応する姿が見られるなど、なごやかな雰囲気の中で進められました。

2日間、競技や応援を通してクラスメイトとの親睦を深める姿を多く見ることができ、また、多くの部活動生やボランティア生徒が運営をサポートしてくれました。

大会結果は以下のとおりです。

平成29年度前期校内大会結果

【男子】

サッカーの部

優勝	準優勝
3-4	2-1

バスケットの部

優勝	準優勝
3-5	1-4

【女子】

ドッジボールの部

優勝	準優勝
3-5	3-6

バレーボールの部

優勝	準優勝
3-2A	3-3A



○オープンキャンパス

7月15日（土）から7月17日（月）にかけて、2年生が長崎大学と長崎県立大学のオープンキャンパスに参加しました。自分が志望する大学の学部学科に分かれて、説明を聞いたり、模擬授業に参加したりしました。普段の高校生活とは一味違う大学でのキャンパスライフを体験することで、進路意識の向上ができたと思います。

8月には九州大学・熊本大学・佐賀大学のオープンキャンパスが実施されます。様々な大学を比較してみることで、自分が本当に行きたい大学を選択し、進路実現に向けて日々の学習に取り組んでもらいたいと思います。



○全国大会壮行式

7月20日（木）、福島県・宮城県で開催される全国高等学校総合体育大会（南東北総体2017）に出場する女子バスケットボール部、2年5組の石本芽衣美さん（少林寺拳法部門）、ならびに宮城県で開催される全国高等学校総合文化祭（2017宮城総文）に出場する邦楽部の壮行式がおこなわれました。式では、それぞれの代表者が全国大会に向けての決意を語ってくれました。今回の女子バスケット部全国出場は、佐世保南高校史上初、県北史上初の歴史的快挙であり、少林寺拳法は今年度新設された部門で、その第一回に南高の名を刻むことができました。邦楽部の全国総文祭出場は今年で5年連続であり、披露してくれた「鳥のように」の心を一つにした演奏は、会場全体を魅了しました。

女子バスケットの第1試合は7月28日（金）、少林寺拳法は8月5日（土）、邦楽部は8月1日（火）に行われます。全国の舞台での南高生の活躍をお祈りしています。



○8月行事予定

- 1日（火） 補習 <3年> ～8日
- 5日（土） Sプロ <3年>
- 8日（火） オープンスクール
- 9日（水） 平和学習 ブロック結成式
- 12日（土） 学校閉庁日 ～16日（水）



- 18日（金） 校内実力 <1・2年>
- 19日（土）・20日（日） 全統模試 <3年>
- 21日（月） 校内実力 <2年>
- 海外研修参加希望者説明会
- 30日（木） 体育祭総練習

